

3年生総合「考古学」の講座で、埋蔵文化財調査センターの先生の出張講義を受けました。

7月15日（水）7限総合の時間に3年生の「考古学」の講座14名が、埋蔵文化財調査センターの城ヶ谷和広先生にご来校いただき、「ものづくり大国あいちの歴史」という出張講義を受けました。県内で作られた土器や陶器から歴史を読み解くと、愛知県は古代から、常に日本の陶磁器生産の中心であり、現在の「ものづくり大国」につながることが分かりました。また、実際に県内から出土した縄文～江戸時代の土器を時代順に並べる実習を行いました。直接触れてみると重さや質感が分かりました。何千年も前の人々が作った土器に触れ、とても感動し胸がドキドキしました。

